

多機能電話機 操作早見表

簡易使用説明書



目 次

製品を安全に正しくお使いいただくために.....	1	サービスメニューのキー操作について.....	8
電話をかけるとき.....	3	<キーのはたらき>.....	8
簡単な操作で電話をかけるとき.....	4	文字入力方法(漢字/カタカナ/英字/ 数字).....	9
<オートダイヤル><登録操作> <発信記録/着信記録>.....	4	<文字入力キー一覧>.....	9
<短縮ダイヤル><短縮ネーム検索に よるかけかた>.....	5	<漢字登録のときの操作手順>.....	10
電話を受けるとき.....	6	<カナ登録のときの操作手順>.....	11
<外線からの電話><内線からの 電話>.....	6	メニュー項目について.....	13
電話を保留したり、転送するとき.....	7	<操作例1、システム短縮番号検索に よる外線発信の場合>.....	14
<保留したり、口頭で転送するとき> <ダイヤルで転送する>.....	7	<操作例2、システム短縮番号を登録 する場合>.....	15
		その他の操作.....	16
		音声メールの操作.....	18

製品を安全に正しくお使いいただくために

ご使用前に必ずお読みください

本製品を安全に正しくお使いいただき、あなた様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、次の事項を必ずお読みください。お読みになったあとは、いつでも見られる場所に保管してください。

 警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
---	--

 注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
---	---

絵表示の例

	この記号は禁止の行為であることを告げるものです。 図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
---	--

	この記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
---	------------------------------

警告

電話機コードを商用電源には接続しないでください。
火災・感電・故障の原因となります。



開口部から内部に金属類を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電・故障の原因となります。



本機を分解・改造しないでください。火災・感電・故障の原因となります。



本機の上や近くに花瓶、コップ、化粧品、薬品、植木鉢など、水類の入った容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電・故障の原因となります。



内容の点検・修理はお買い上げ店に依頼してください。



⚠ 注意

調理台や加湿器のそばなど湯煙や湯気があたるような場所および、ちりほこりの多い場所には置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。



ぐらついた台の上や、傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたり、けがの原因となることがあります。



直射日光のあたることろや湿度の高いところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災・故障の原因となることがあります。



水滴がついたら乾いた布で拭き取ってください。内部に入ると火災・故障の原因となることがあります。



壁掛け用に取り付ける場合は、重みにより本機が落下しないよう、専用の取付器具を使用し、指定の方法で取り付けてください。落下すると、けがの原因となることがあります。



取扱いのご注意

受話器用カールコードや、モジュラープラグで差し込まれているラインコードを強く引っ張らないでください。故障の原因になることがあります。

磁気を発生するものの近くに設置しないでください。誤動作の原因になることがあります。

電話機を清掃するときは、揮発性のあるシンナーやアルコールおよび、シリコン系のクリーナーなどの使用は絶対にさけてください。水を含んだ布をかたくしぼって拭いた後、柔らかい布でからぶきしてください。変色・変形の原因になることがあります。

放送局のアンテナ近く（2km以内）や、CB無線、漁業無線の交信が多い場所（国道沿い、港の近く）で雑音が発生する場所は、販売店にご相談ください。

雷の多い地域において、雷対策を実施する場合には、販売店にご相談ください。

ISDN停電用多機能電話機を使用時は、ラインコード（回線コード）を外さないでください。ISDN回線が使用できなくなることがあります。故障の場合は、ラインコードを外さず販売店にご相談ください。

免責事項について

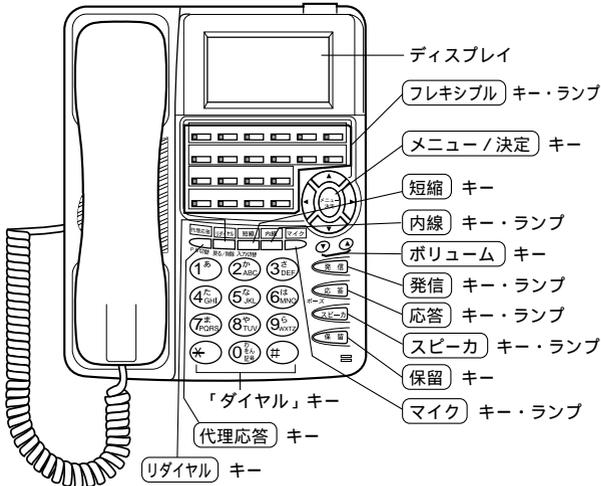
地震および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

本商品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害（記憶内容の変化・消失、事業利益の損失、事業の中断、通信機会の喪失など）に関して、当社は一切責任を負いません。

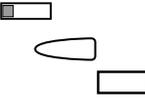
使用説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

(注) ご使用にあたっては「使用説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。



記号の説明

 受話器をあげる	 受話器を戻す
《 》 ダイヤルする	 お話しをする
 口頭で呼びかける	 各機能キー

電話をかけるとき

1 受話器をあげます。



受話器をあげずにかける

外線へかけるときは操作1を省略し操作2を行います。

外線へかけるときは、操作1で「外線」キーを押し、次に操作2を行います。

相手の応答する声が、スピーカから聞こえたら受話器をあげ、お話ができます。

2 外線へかけるとき

ランプが消えている「外線」キーを押してから相手の電話番号をダイヤルします。

内線へかけるとき

相手の内線番号をダイヤルします。

電話番号を確認して発信する

受話器を置いた状態から、相手番号をダイヤルします。

外線へかけるときは、相手番号をディスプレイで確認し、「発信」キーを押すか、ランプが消えている「外線」キーを押します。

内線へかけるときは、内線番号をディスプレイで確認し、「内線」キーを押します。

相手の応答する声がスピーカから聞こえたら受話器をあげてお話しします。

3 相手が応答すると、お話ができます。



外線へかけるときは、操作2で「外線」キーのかわりに「発信」キーまたは「0」ダイヤルでも可能です。

簡単な操作で電話をかけるとき

オートダイヤル

1  オートダイヤル キーを押します。

2  相手の応答する声がスピーカから聞こえたら受話器をあげてお話しが出来ます。

受話器を上げた後1の操作を行っても発信できます。

登録操作

キーを押す。

キーで“5(フレキシブルキー設定)”を選び キーを押す。

キーで“4(オートダイヤル割付)”を選び、 キーを押す。

登録する キーを押す。

登録する電話番号をダイヤルする。

キーを押す。

キーで [番号種別] を選び、

キーを押す。

キーを押す。

番号種別

1(外線) : 相手先が外線の場合は“1”を押す。

2(特番展開) : 相手先が内線の場合は“2”を押す。

3(PBX) : 相手先が接続されているPBX内線の場合は“3”を押す。

発信記録 / 着信記録

1  発信記録を選択するとき、 キーを、着信記録を選択するときには キーを押します。

2  キーでかけたい相手の番号を表示します。

3  キーを押すか、外線ランプの消えている キーを押します。

4  相手の応答する声がスピーカから聞こえたら受話器をあげてお話しが出来ます。

着信記録は、応答 / 未応答にかかわらず全て着信について記録されます。

簡単な操作で電話をかけるとき

短縮ダイヤル

1  **短縮** キーを押します。

2 短縮番号（3桁）をダイヤルします。

システム短縮番号は最大500件登録できません。

3  相手の応答する声がスピーカから聞こえたら受話器をあげてお話しができます。

受話器をあげた後1と2の操作を行っても発信できます。

短縮ネーム検索によるかけかた(注)

1  キーを押します。

2  検索する名称の頭文字を入力し **メニュー/決定** キーを押す



もし同じ頭文字で2つ以上の短縮Noがある場合は、キーでスクロールします。

3  **発信** キーまたは **外線** キーを押します。
または 

4  相手の応答する声がスピーカから聞こえたら受話器をあげてお話しができます。

注：主装置のバージョンによっては操作が異なる場合があります。詳しくは販売店にご相談ください。

電話を受けるとき

外線からの電話



着信音が鳴り **外線** キーの外線ランプが赤く点滅します。



1 受話器をあげます。



2 **応答** キーまたは赤く点滅している **外線** キーを押し、相手とお話しができます。
(**外線** ランプ 緑点灯)

1と2の操作を逆に行っても、電話を受けることができます。

外線からのDIL着信は、内線からの電話と同じ操作で電話を受けます。この場合、着信した電話機の表示画面にDILの表示をしません。

内線からの電話

自分の電話機が鳴っているとき



1 受話器をあげると、相手とお話しができます。

近くの電話機が鳴っているとき



1 受話器をあげます。



2 **代理応答** キーを押し、相手とお話しができます。

1と2の操作を逆に行っても、電話を受けることができます。

電話を保留したり、転送するとき

保留したり、口頭で転送するとき

少しお待ちください。



- 1 通話中の相手に保留することを伝え、**保留**キーを押します。

保留の相手には、保留音（メロディ）が流れます。

- 2 転送先に口頭で呼びかけます。

吉田さん
電話ですよ。



- 3 呼びかけられた人は、点滅している**外線**キーを押し、受話器を上げます。



ダイヤルで転送する

電話を転送しますので
少しお待ちください。



- 1 **外線**キーを押します。

- 2 転送先の内線番号をダイヤルします。

- 3 転送先が応答したら、電話を転送する旨を伝え、受話器を置けば転送完了です。

さんから
お電話です。



サービスメニューのキー操作について

システム短縮ダイヤル、発信記録、着信記録等の各種登録・情報参照をメニュー選択から操作することができます。

サービスメニューは、下記キーを使用して操作できます。

キーのはたらき

操 作	操作キー	備 考
メニューの表示		サービスメニューを表示させます。
項目の選択とデータ検索 短縮ネーム検索(注)	 	<ul style="list-style-type: none"> ・メニュー内の項目の選択とデータの検索に使用します。 ・最初のキー操作で  を押します。
設定・登録・変更の決定		設定・登録・変更の内容を決定します。
発信記録 / 着信記録表示 文字入力時のカーソル移動	 	<ul style="list-style-type: none"> ・最初のキー操作で、  を押すと発信記録を表示、  を押すと着信記録を表示します。 ・文字入力時のカーソルの移動に使用します。 ・発信記録または着信記録を表示しているとき16桁を越えた部分を表示したいときに使用します。 ・ はメニュー選択時に1つ上のメニューに戻るときにも使えます。
PB切替	代理応答  PB切替	サービスメニューでダイヤル入力時にPB信号切替の入力キーとして使用します。
戻る / 削除	リダイヤル  戻る/削除	サービスメニューを操作中、1つ前のメニューに戻る。または、入力した文字を1文字削除するときを使用します。
入力切替	短縮  入力切替	文字入力する場合、「カナ」「英字」「数字」の切替に使用します。

上記キーの他、メニュー順番に対応する10キーによる項目選択が可能です。

注：主装置のバージョンによっては操作が異なる場合があります。詳しくは販売店にご相談ください。

文字入力方法(漢字 / カタカナ / 英字 / 数字)

相手名称登録等における文字入力方法を以下に示します。

文字入力キー一覧

キー操作	入力モード	キーを押す回数(1回~最大17回)	数字入力モード
①あ	漢字	あいうえおあいうえお	1
	カナ	アイウエオアイウエオ	
②かABC	漢字	かきくけこ	2
	カナ	カキクケコ	
	英字	A B C a b c	
③さDEF	漢字	さしすせそ	3
	カナ	サシスセソ	
	英字	D E F d e f	
④たGHI	漢字	たちつとっ	4
	カナ	タチツテトッ	
	英字	G H I g h i	
⑤なJKL	漢字	なにぬねの	5
	カナ	ナニヌネノ	
	英字	J K L j k l	
⑥はMNO	漢字	はひふへほ	6
	カナ	ハヒフヘホ	
	英字	M N O m n o	
⑦まPQRS	漢字	まみむめも	7
	カナ	マミムメモ	
	英字	P Q R S p q r s	
⑧やTUV	漢字	やゆよやゆよ	8
	カナ	ヤユヨヤユヨ	
	英字	T U V t u v	
⑨らWXYZ	漢字	らりるれろ	9
	カナ	ラリルレロ	
	英字	W X Y Z w x y z	
⑩わをん ^ん ⑩ _ん (注1)	漢字	わをん ^ん ° - ! ? ー	0
	カナ	ワヲン ^ん ° - ! ? ー	
	英字	- . : & @ , _ ; ' ^ ¥ / [] ー * #	
✳	漢字	° °	
	カナ	° °	

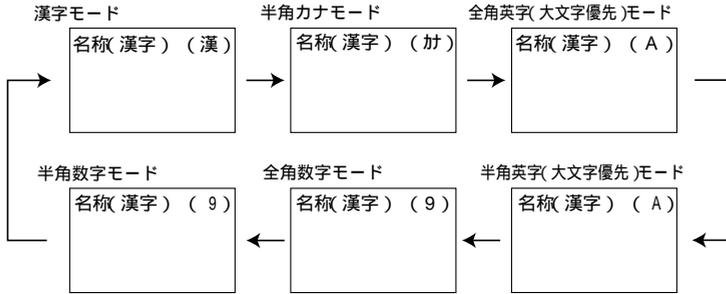
注1：キー操作⑩_んの漢字、カナ、英字にある ー は、スペース(空白)が入力されます。

漢字登録のときの操作手順

注：主装置のバージョンにより、漢字登録操作が異なる場合があります。詳しくは販売店にご相談ください。

1 文字入力モード切替

文字入力時に  を押すごとに下図のように切り替わります。



2 文字を入力する(最大文字数は全角8文字です。)

各ダイヤルキーには、それぞれ複数の文字が割り当てられており、キーを押した回数により表示文字が切り替わります。

希望した文字が表示されたら、次の文字を入力するか \triangleright キーを押すとその文字は採用されます。

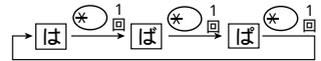
3 濁点、半濁点の扱い

1つ前の入力文字に結合される濁点、半濁点の場合、入力キーは ⊛ を使います。

例：ば、ば

ば： ⊙ 1回 ⊛ 1回

ば： ⊙ 1回 ⊛ 2回



独立した1文字分の濁点、半濁点の場合、入力キーは、 ⊙ を使います。

例：う*

う*： ⊙ 3回 ⊙ 4回

4 漢字の文節変換・確定方法

かなを入力する

キーを押す

自動的に文節で区切られ、第1文節の変換候補が反転表示となります。

続けて キーを押すと反転部分の次候補が表示さる

変換が正しい場合は [メニュー/決定] キーを押す
確定した漢字は、2段目または3段目に移ります。

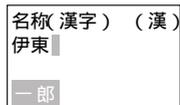
名称(漢字)(漢)
|
|
| いういちろう

名称(漢字)(漢)
|
|
| 伊藤いちろう

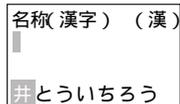
名称(漢字)(漢)
|
|
| 伊東いちろう

名称(漢字)(漢)
| 伊東 |
| いちろう

引き続き、第2文節の変換となるので、 キーを押し変換候補を選択する



正しい変換ができない場合は、◀▶ キーを押し文節を変えて、変換候補を選択する



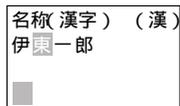
5 登録した漢字の修正 / 挿入 / 削除方法

この操作は、表示画面4段目に文字が入力されていない時にできます。

◀▶ キーを押し修正 / 挿入 / 削除位置にカーソルを移動する

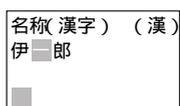
例：伊東一郎

藤に修正



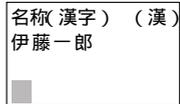
 を押すとカーソルの部分が削除される

戻る/削除



漢字を挿入する

漢字の文節変換、確定方法により漢字を入力します。



6 漢字登録時の入力かな文字の名称(カナ)への反映

名称(漢字)の入力時、名称(カナ)が未入力だった場合、漢字変換時に入力した全角かな文字を全て半角カナにした文字列を名称(カナ)に自動的に反映します。正式な読み仮名と違うときは、カナを修正します。

例 入力かな：すずきいちろう 名称(カナ)：スズキイチロウ

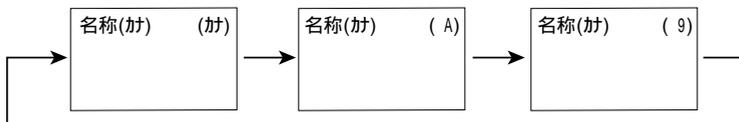
名称(漢字)：鈴木一郎

ただし、名称(カナ)にすでに何らかの入力がある場合は反映しません。

カナ登録のときの操作手順

1 文字入力モードを選び

文字入力時に  を押すごとに下図のように切り替わります。



2 文字を入力する(最大入力文字数は10文字です)

各ダイヤルキーには、それぞれ複数の文字が割り当てられており、キーを押した回数により表示文字が切り替わります。

希望した文字が表示されたら、次の文字を入力するか▶ キーを押すと、その文字が採用されます。

<文字入力例（スズキイチロウの場合）>

- 1  を3回押す
- 2  を押しカーソルを移動する
- 3  を3回押し、 を4回押す
または  を1回押す
- 4  を2回押す
- 5  を2回押す
- 6  を2回押す
- 7  を5回押す
- 8  を3回押す
- 9  を押す

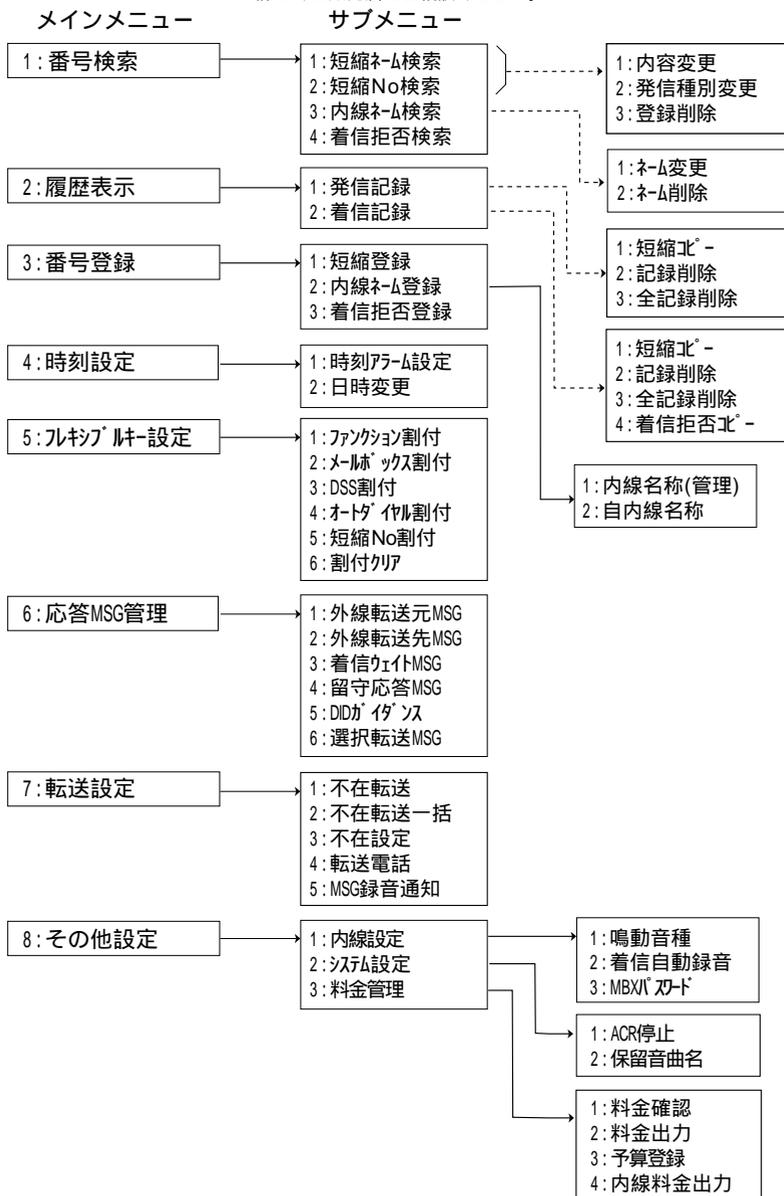
<文字入力の修正例（スズキイタロウ → スズキイチロウの場合）>

- 1 文字入力画面で  でカーソルを「タ」
に移動する
- 2  を押す
戻る/削除
「タ」が削除されます。
- 3  を2回押す
- 4  を押す

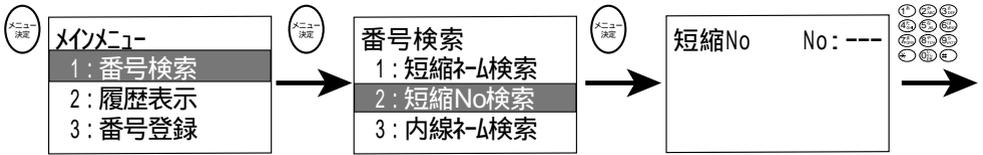
メニュー項目について

メインメニューおよびサブメニューのメニュー項目を以下に示します。

注1：----->は、サブメニューから短縮No、ネーム等検索後の操作を示します。
 注2：主装置のバージョンにより、サブメニューの内容に若干違いがあります。
 詳しくは販売店にご相談ください。



操作例1．システム短縮番号検索による外線発信の場合



◀▶キーでカーソル位置が移動します。表示されていない項目(4~)がある場合は、◀▶キーで表示されます。数字をダイヤルすることも可能です。

◀▶キーでカーソル位置が移動します。数字をダイヤルすることも可能です。

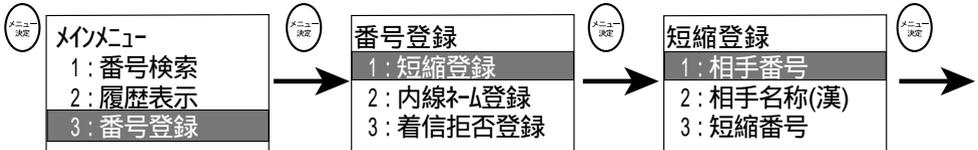
◀▶キーで番号を選択できます。数字をダイヤルすることも可能です。そのあと◀▶キーで順番に検索することもできます。



“123”をダイヤルする。

操作例2．システム短縮番号を登録する場合

(注)



⏏キーでカーソル位置が移動します。表示されていない項目(4~)がある場合は、⏏キーで表示されます。数字をダイヤルすることも可能です。

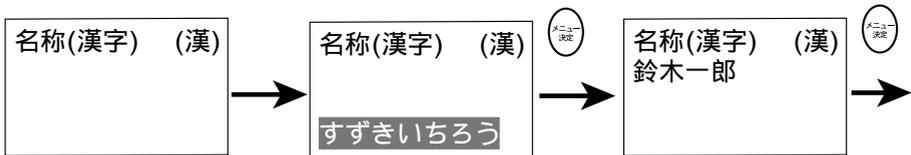
⏏キーでカーソル位置が移動します。数字をダイヤルすることも可能です。

⏏キーでカーソル位置が移動します。数字をダイヤルすることも可能です。



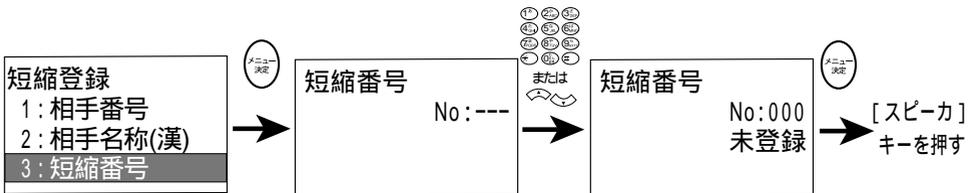
登録する電話番号(012 3456789*1234)をダイヤルする

⏏キーでカーソル位置が移動します。数字をダイヤルすることも可能です。



文字(すずきいちろう)を入力する

漢字の文節変換確定方法により漢字を登録する。



⏏キーでカーソル位置が移動します。数字をダイヤルすることも可能です。

短縮番号(000)をダイヤルする
<登録範囲000~999:
最大500件>

注：主装置のバージョンにより、メニューに相手名称 漢 が表示されない場合があります。そのときは、相手名称 カナ となります。

その他の操作

項目		操作手順	
外線発信	最後にかけた相手に再度かける (リダイヤル)	 → リダイヤル → <input type="text"/>	
	かけ直しを繰り返す (オートリピート)*	相手話中 → オートリピート → <input type="text"/> →  →  → 相手が応答したら → 	
	ダイヤルメモリでかける*	 → 外線 → <input type="text"/> または  →  → <input type="text"/>	
内線発信	音声で呼出す (内線音声呼出し)	 → 《相手先内線番号》 → * (* を押すたびに音声とトーンが切り替わる)	
	すべての内線電話を一斉に呼び出す (一斉呼出し)	呼出し	 → 《グループ呼出特番》 [* (*) 0 (0) 0 (0)] → 0 (0) → 受話器で呼びかける <small>初期設定</small>
		応答	 → 《グループ応答特番》 [# (#) 0 (0) 0 (0)] → 0 (0) → 呼出内線と通話 <small>初期設定</small>
	構内放送をする (オプション)	呼出し	 → 《放送呼出特番》 [* (*) 9 (9)] → 0 (0) または 1 (1) → 《一斉放送》 <small>初期設定</small>
応答		 → 《放送応答特番》 [# (#) 9 (9)] → 0 (0) または 1 (1) → 呼出内線と通話 <small>初期設定</small> 《一斉放送》	
共通	会議通話をする (会議通話)*	通話中 → 内線 → <input type="text"/> → 《内線番号》 → (応答) → <input type="text"/> → 三者通話 参加者が外線の場合は、外線 → <input type="text"/> を押し 《外線番号》 ダイヤル	
	通話に3人目を加える (秘話解除)*	解除者 外線通話中 → <input type="text"/> → 秘解 / 会議 → 口頭で呼びかける → 三者通話 参加者  → 外線 → <input type="text"/> → 三者通話	

*印のついている項目は、あらかじめフレキシブルキーへの設定登録が必要です。

オフフック外線自動捕捉機能をご利用されている場合、上記操作中の 部分で を押してください。

その他の操作（続き）

項 目		操 作 手 順	
	通話中に 割り込む (割込通話)*	内 線	 → 《相手内線番号》 → (相手話中) → 割込 <input type="checkbox"/> → 三者通話
		外 線	 → 割込 <input type="checkbox"/> → 外線 <input type="checkbox"/> → 三者通話
共 通	一般着信を 1台の電話機で受ける (集中着信)*	【設定】  → 集中着信 <input type="checkbox"/>	【解除】  → 集中着信 <input type="checkbox"/>
	昼 / 夜モード切替 (夜間切替)*	【設定】  → 夜間切替 <input type="checkbox"/>	【解除】  → 夜間切替 <input type="checkbox"/>
	不在メッセージを送る (不在設定)*	【メッセージを選ぶ】  → メニュー決定 → 「転送設定」 → 「不在設定」 → 「不在理由」 不在理由 (1 : [不在] 2 : [外出] 3 : [会議])	【設定】  → 不在設定 <input type="checkbox"/>
	プッシュホン信号を送る (PBエンド・ツー・エンド通信)*	通話中 → PB信号 <input type="checkbox"/> → 《ダイヤル》 → (PB信号送出)	
ド ア ホ ン	ドアホンの呼出しに 応答する (ドアホン着信応答)*	(ドアホン着信中) →  → ドアホン <input type="checkbox"/>	
	ドアホン呼出し* ドアホンモニタ*	 → ドアホン <input type="checkbox"/> → (モニタ終了後) ドアホン <input type="checkbox"/> モニタはオンフック中の ドアホン 押下	

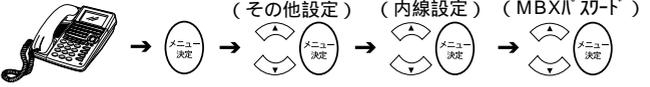
*印のついている項目は、あらかじめフレキシブルキーへの設定登録が必要です。

オフフック外線自動捕捉機能をご利用されている場合、上記操作中の 部分で「内線」を押してください。

音声メールの操作

項目	操作手順	
録音・再生機能の自動割付け (メールボックス利用時)	<p>メールボックス 通話録音 録音終了 共通メールボックス</p> <p>初期立ち上げ時のフレキシブルキーへの機能割付け</p> <p>再生 前再生 次再生</p> <p>メニュー決定</p> <p>代理応答 リダイヤル 短縮 内線 マイク</p> <p>倍速再生 一時停止 保存 消去 録音</p>	
本 体 連 動 機 能	通話録音	<p>メールボックス</p> <p>通話録音</p> <p>(通話中) → 通話録音 → 《メールボックス番号》 → 内線番号 → 録音終了</p>
	着信自動録音の登録と解除	<p>保留 → 通話録音</p> <p>登録: 通話録音 キーランプは赤で点灯 解除: 通話録音 キーランプは消灯</p>
	伝言録音	<p>通話録音 → 《メールボックス番号》 → 内線番号</p> <p>(録音状態) → [卄 : 録音終了 * : 録音取消し]</p>
	不在代行の登録	<p>(転送設定) (不在転送) (種別選択)</p> <p>1: 内線転送 2: 外線転送 3: 専用線転送 4: 発信番号別転送 5: 選択転送先</p> <p>(メールボックス)</p> <p>メニュー決定 → 《メールボックス番号》 → 内線番号 → (システム短縮番号) → 録音終了</p>
	不在代行の設定 (解除中からの設定)	<p>不在転送 → 保留 → スピーカ</p> <p>《不在転送》キーランプは赤で点灯します。</p>
	不在代行の解除	<p>不在転送</p> <p>《不在転送》キーランプは消灯します。</p>
	メッセージ通知先の登録	<p>(転送設定) (MSG録音通知 X MBX番号)</p> <p>(通知時間帯) (通知間隔) (通知先番号)</p> <p>《通知時間》 (番号種別) (開始/終了)</p> <p>外線 特番展開 PBX</p> <p>1: 開始 2: 終了</p> <p>録音終了 → スピーカ</p>

音声メールの操作（続き）

項 目	操 作 手 順
本体 連動 機能 (つづき)	<p>パスワードの設定 (一般電話機からの設定)</p>  <p>→ 《パスワード》 → スピーカー</p> <p>数字4桁 新パスワード：____ 確認：_____</p>
	<p>録音転送</p> <p>(通話中) → 内線 → メールボックス → (録音状態)</p>
	<p>外出先からの通話を 音声メールへ転送</p> <p>(通話中) → 内線 → 《メール特番》 7^ホ 0^ホ 9^ホ 1^ホ → (音声メールへ転送)</p>
メ ー ル サ ー ビ ス	<p>音声メールへの アクセス操作</p> 
	<p>応答メッセージ変更</p> <p>(メールアクセス中) → 1^ホ → 4^ホ 0^ホ 1^ホ → [0^ホ: 不在代行用 / 1^ホ: 着信代行用1 / 2^ホ: 着信代行用2] → [5^ホ: 再生 / 6^ホ: 録音 / 3^ホ: 消去] → # → 9^ホ</p>
	<p>再生中のメッセージの 保存と消去</p> <p>(メールアクセス中) → メニュー決定 または (メッセージ再生) 1^ホ → [2^ホ ABC] → [内線 / 短縮] または 3^ホ: 消去 → 9^ホ または 7^ホ: 保存</p>
	<p>メッセージ転送</p> <p>(メールアクセス中) → 1^ホ → 3^ホ DEF → メールボックス → # → 9^ホ (メールボックス番号)</p>
	<p>メッセージ検索後にで きる操作</p> <p>(メールアクセス中) → 応答 → (ディスプレイに表示) → [1^ホ 3^ホ: メッセージ転送 / 内線 または 3^ホ: 検索メッセージの再生後消去 / 終了状態へ / 2^ホ または 1^ホ 2^ホ: 検索メッセージの再生 / 再生中状態へ / 短縮 または 7^ホ: 検索メッセージの保存 / 再生終了状態へ] → 応答</p>
	<p>外線からメールアクセ ス中伝言録音</p> <p>(メールアクセス中) → # → * → 《メールボ ックス番号》 → (録音状態) → (録音終了) 0^ホ 9^ホ ~ 9^ホ</p>
	<p>外線からアクセス中 内線呼出し</p> <p>(メールアクセス中) → # → 《内線番号ダイヤル》 → (内線を呼び 出します。) 0^ホ 9^ホ ~ 9^ホ</p>
<p>音声メールサービスの 終了</p> <p>(メールアクセス中) → 9^ホ</p>	